

授業のねらい

- 1 明治憲法の特徴と運用について理解させる。
- 2 日本国憲法制定の経過を把握させる。
- 3 日本国憲法の三つの基本原理を理解させる。

導入の工夫

冒頭の先生と生徒の会話を見て、生徒が持っている大日本帝国憲法(明治憲法)と日本国憲法のイメージをそれぞれ一言で出させる。憲法改正を多く行っている国として、ドイツ(約60回)やフランス(約30回)などがある(▶資料編 p.50)。

図版1 大日本帝国憲法と日本国憲法

表を見ると相違点が目立つが、国家権力を制限して国民の権利や自由を守ろうとするのが近代憲法の特徴であり、明治憲法も当てはまることを確認したい。

発問例 大日本帝国憲法と日本国憲法の相違点と共通点を挙げてみよう。

A 明治憲法の特徴

発問例 憲法は他の法律とどう違うのか？

- 明治憲法は、天皇の権限を制限していることを理解させ、また、天皇大権などその不十分さについても確認する。
- 「臣民の権利」と「基本的人権」の違いを確認する。

B 日本国憲法の制定

- ポツダム宣言は、憲法改正を直接明文で要求していなかったことに注目させたい。
- 時間的余裕があれば、帝国議会での修正についても、確認させたい。

写真4 日本国憲法公布祝賀会のようす(1946年11月3日)

東京・皇居前広場で行われた日本国憲法公布記念祝賀会。祝賀会には昭和天皇と香淳皇后が出席され、約10万人が集まったとされる。

CHECK の解答例

大日本帝国憲法は、天皇が恩恵として与えた「臣民の権利」であり、法律で制限されうとする法律の留保をともなっていた。日本国憲法では基本的人権を「侵すことのできない永久の権利」と規定し、法律の留保は取り除かれた。

板書例

A 明治憲法の特徴

- …立憲主義に基づく近代憲法(日本初)
- (1) 天皇…国の元首、統治権総攬
 - ▶天皇大権(緊急勅令、独立命令、戒厳令、統帥権の独立)
- (2) 「臣民の権利」…天皇が恩恵として与えた
 - ▶「法律ノ範囲内ニ於テ」…法律による制限可(法律の留保)
 - ▶治安維持法などにより制限

B 日本国憲法の制定

- 1946年11月3日公布、1947年5月3日施行
- 1945年8月ポツダム宣言受諾
 - ▶GHQ、憲法改正指示
 - ▶憲法問題調査委員会設置(松本委員長)
 - ▶GHQは松本案拒否・マッカーサー草案手交→帝国議会で審議
 - ▶一部修正し可決・成立

C 日本国憲法の基本原理

- (1) 国民主権…「国会における代表者を通じて行動」する議会制民主主義を採用
- (2) 基本的人権の尊重…「侵すことのできない永久の権利」
- (3) 平和主義…第9条▶戦争の放棄・戦力の不保持・交戦権の否認

D 天皇の地位と役割

- (1) 日本国および日本国民統合の象徴 = 象徴天皇制
- (2) 天皇の国事行為…内閣の助言と承認

第2節 日本社会の基本原理

1 日本国憲法と基本原理

▶日本国憲法の特徴とは？

日本国憲法って、公布されてからもう何十年も経つんですね？

そうですね。1946年に公布されて、もう70年以上経過しています。公布から現在まで日本国憲法が改正されたことがないのは知っていますよね。

はい。でも、それって珍しいことなんですか？

同じ期間で何度も改正されている国もあります。憲法にどのようなことが書いてあれば、私たちがよりよい暮らしをおくることのできるのか、考えてみることも大事ですね。

大日本帝国憲法	性格	日本国憲法
欽定憲法	性 格	民定憲法
天皇主権	主 権	国民主権
元首で統治権を総攬 天皇が陸海軍を統帥。 臣民に兵役の義務	天 皇	日本国・日本国民統合の象徴 戦争の放棄。戦力の不保持。交戦権の否認
臣民の権利として規定。 法律の留保	国民の権利	永久不可侵の基本的人権
天皇の協賛機関。 衆議院と貴族院	国 会	国権の最高機関で唯一の立法機関。衆議院と参議院
天皇の輔弼(たすける)機関。 内閣制度の規定なし	内 閣	行政権の最高機関。国会に対して連帯責任
規定なし	裁判所	司法権の行使。裁判官の独立。違憲立法審査権
規定なし	地方自治	地方自治の尊重。特別法に対する住民投票
天皇が発議。 帝国議会の議決で成立	憲法改正	国会が発議。 国民投票で成立

大日本帝国憲法と日本国憲法

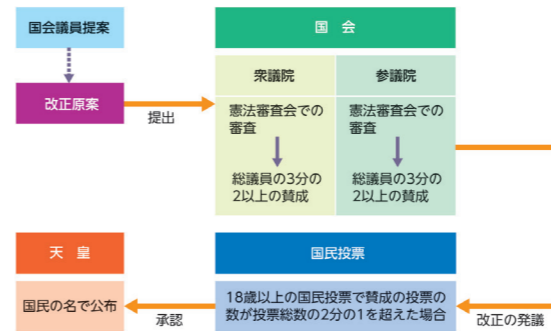
Note 天皇大権

明治憲法において、天皇は元首として統治権を総攬する。統治権とは国政を行うすべての権限のことであり、総攬とはそれらを一手に掌握することである。幅広い天皇大権のなかでも軍を指揮・命令する統帥権には、帝国議会や内閣もまったく関与できず、統帥権の独立が保たれた。

臣民 君主制国家において君主が支配する対象者のことで、明治憲法下では国民は臣民とよばれた。

比較 民定憲法と欽定憲法 日本国憲法は、国民の代表によって制定された民定憲法である。一方、明治憲法は天皇によって制定された欽定憲法である。

CHECK 国民の権利についての大日本帝国憲法と日本国憲法の違いは何か。



●憲法改正の国民投票 最高法規である憲法改正の是非を、主権者である国民が最終的に決定するものであり、国民主権の原理にもとづく。憲法第96条の国民投票の規定を具体化する法律として、2007年に憲法改正国民投票法が成立した。同法は2014年に改正され、投票権年齢が18歳に引き下げられた。

○2 憲法改正の手続き

C 日本国憲法の基本原理

日本国憲法の基本原理は明治憲法とは大きく異なる。その第一は、国民主権である。日本国憲法は、前文で「主権が国民に存する」と宣言し、第1条でも国民主権を明記した。また、議会制民主主義を採用し、国民の代表である国会を「国権の最高機関」と位置づけた。

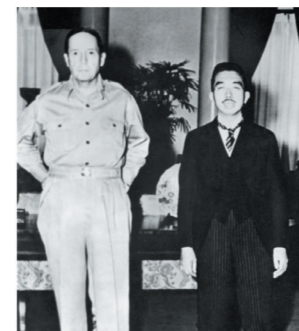
第二は、基本的人権の尊重である。日本国憲法は、基本的人権を「侵すことのできない永久の権利」と規定している。明治憲法での法律の留保は取り除かれ、生存権などの社会権も新たに加えられた。

第三は、平和主義である。憲法の前文に、戦争を二度と起こさないとする国際平和実現への強い決意が示されている。第9条で、戦争の放棄・戦力の不保持・交戦権の否認として具体化されている。

D 天皇の地位と役割

憲法第1条で、天皇は日本国および日本国民統合の象徴とされ、その地位は「主権の存する日本国民の総意に基く」と定められた。これを象徴天皇制という。天皇は国政に関する権能を一切もたず、内閣の助言と承認のもと、憲法で定められた国事行為のみを行う。

POINT 1889年に、立憲主義に基づいた大日本帝国憲法が公布された。1946年に、国民主権を基本原理の一つとする日本国憲法が公布された。日本国憲法の基本原理は、国民主権・基本的人権の尊重・平和主義である。



政治思想・憲法 昭和天皇とマッカーサーの初会見 この写真は、マッカーサーの権力を国民に強く印象づけた。



日本国憲法公布祝賀会のようす(1946年11月3日)



国務大臣の任命式 天皇の国事行為はすべて形式的・儀礼的行為にすぎず、その責任はすべて内閣が負う(第3条)。

CHECK 日本国憲法の三つの基本原理は何か。

図版2 憲法改正の手続き

発問例 憲法改正がされたことがなかったのはなぜだろう。

長い間、改正に必要な国民投票の規定を具体化する法律が存在しなかったが、2007年に国民投票法が成立した。この法律の制定により、改正手続きを進める環境が整ったことを理解させる。

写真3 昭和天皇とマッカーサーの初会見

発問例 この写真が新聞に掲載されたとき、多くの日本人は衝撃を受けた。それはどうしてだろうか。

この写真が日本中に衝撃を与えたのは、戦時中に「現人神」として神格化されていた昭和天皇が、この写真を通じて紛れもない「人間」だったことを示すことになったからである。

C 日本国憲法の基本原理

発問例 平和主義を基本原理の一つとした理由はなぜだろう。

- 議会制民主主義を通じて国民主権が実現されることを確認させたい。
- 基本的人権と「臣民の権利」との違いを理解させる。
- 平和主義を基本原理とした理由を考えさせる。二度と戦争を起さないと強い決意である。前文で示し、第9条で具体化されていることを確認する。

D 天皇の地位と役割

発問例 大日本帝国憲法と日本国憲法で天皇の地位はどう変わったのか。

- 象徴の意味をきちんと学習させる。
- 国事行為はすべて形式的儀礼的行為であることに留意する。

授業のまとめ

- 1 明治憲法の特徴と運用について理解できたか。
- 2 日本国憲法制定の経過が理解できたか。
- 3 日本国憲法の三つの基本原理が理解できたか。

CHECK の解答例

国民主権・基本的人権の尊重・平和主義